

学んだこと、経験したことの先に続く道

校長 宗 像 玲

来週末には修了式、卒業証書授与式、離任式を同日に行います。日本人学校ならではの慌ただしい年度末ですが、今年度もあと1週を残すだけとなりました。

この1年間の保護者の皆様のご厚情とご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

先日、ブラジルで行われたG20の国際会議に出席された上川陽子外務大臣が、パナマを訪問され、超過密日程の中で急ぎよ日本人学校に立ち寄って下さいました。物々しい警備や随行者の多さに圧倒されましたが、外務大臣からは日本人学校で学んでいる子どもたちに温かい言葉をかけていただき、最後は円陣を組んで、「がんばるぞ!」「おー!」と一緒に気合いを入れてもらいました。バスの予定を変更して保護者の皆様にはご迷惑をおかけいたしました。これも日本人学校ならではの経験かもしれません。



8日に行う卒業証書授与式は、学校にとっては最も重要な儀式です。今年は小学部6年生のさん、さん、中学部のさんの3人が「節目」を向かえます。卒業生はパナマ日本人学校で過ごした時間の中で、学んだこと、経験したことの先に、それぞれちがう道が続いていきます。「人の一生は重荷を負って遠き道を行くがごとし。」ですが、これからも自分の目標をしっかりと掲げて、自分らしく自分を磨きながら、自分作りの道を歩いていって欲しいと思います。

また卒業生だけでなく、進級したり、帰国して進級したりする在校生も、今年1年をしっかりと振り返り、自分の成長を自覚し、自分自身の意識をワンランク上げて目標を設定できるように、新学年への準備を進めてください。

さて、今年は海外派遣3年目を迎え帰国される先生方が4人おられます。4人の先生が日本を出発されたときは、まだ新型コロナウイルス感染症によるパンデミックの影響が残っていました。パナマに着任された先生方は、1学期はオンライン授業を続け、2学期からようやく対面での授業が始まりました。そして中断していた学校行事を一つ一つ再開し、パナマ日本人学校のあるべき姿を取りもどしていただきました。そのご苦勞に心から感謝しています。

ラスト1週間、がんばって行きましょう!バモス!